

## 第7回 酔鴻忌レポ

2017年2月4日

季節外れに暖かい平成29年2月4日土曜日、私は午前早くに京都に着き、念願の高台寺拝観へ。定刻になり、待ち合わせ場所へ。相変わらず大悲閣への上り坂はキツイ。最後尾になりながら、やっとたどり着く。多くの人が待つ客殿へ。例によって皆でお経を唱え、順々に北森さんにご挨拶。

そして待望の飲み会。カズさんに促されて自己紹介タイム。今回は関東から参加された初対面の方々が多かったように思う。昨年、日本酒を飲みすぎて帰りの参道でコケてしまうという失態をやらかしたが、今日は日本酒は控えめに、その場にあったビールをいただくのに専念する。(をい！ 編者注)

今年の初参加の白眉は、北森さんが勤めていた「GB」という編集プロダクションで一緒に働いていた「ワトソン環さん」という女性。雑誌をお持ちいただいたので北森さん原作というミステリマンガを回し読む。なんと『花の下にて春死なむ』のトリック（真冬にエアコンの除湿機能を使って死体に細工する、だったかな）が使われていて、なんだか発見した気分。

今回のジャンケン大会は、浅野里沙子先生のご提供による北森さん資料本コレクション。白熱した勝負の結果、私も江戸風俗の資料本をゲットし、久々にジャンケンに勝ったとホクホク。山を下りる時は、慎重に脚を進める。あまり飲まなかったためか、快調に下りきって一安心。

そして二次会。二次会の前に（北森先生の）お兄さんが「ぜひともウコンの力を買っておきたい（明日仕事があるので悪酔いしないために）」

と仰るので、私も便乗してマツキヨへ。結果、「ヘパリーゼ」を1本おごってもらい、感謝しつつ会場へ。

今回の二次会はリーズナブルな会費ながらおつまみが十品も出てくるというmiyukiちゃん渾身のチョイス。さすがである。奇しくも私の隣はワトソンさんのパートナー氏。北森さんのことは余りご存知ない様子だったが、山歩きが趣味ということで富士登山の話などしてしばし和む。

さて、三次会。前にも行ったことのあるエスニックバー「サマサマ」へ。各々お腹は一杯のはずなのに、なぜか「ナシゴレン」やら「ミーゴレン」などが出てきて若い人は満足そう。マンゴーサワーが美味しい。ここで私の隣は、やはり初参加ながら存在感の大きなとある女性。なんでも八王子にある大学でフランス語を教えていらっしやるとか。フランスおたくの私の血が騒ぎ、東京での再会を約束する。

さて、平成30年1月現在……

サマサマでの約束は、まだ実現には至っていないが、サマサマでは「味とめ」の話も出て、ぜひ味とめ会をとという流れにもなったのだが、味とめの昨年9月いっぱいでの改築・閉店を受けて、9月29日に急遽、「味とめ会」が開催されたのは皆様ご存知のとおり。今年9月の再開を目処にしているそうだが、待ち遠しい。

先日、三軒茶屋への用事のついでに味とめのあった場所を訪ねてみると、工事中の囲いがされており、おばちゃん（女将）手書きのメッセージが。

「おにいちゃん、おねえちゃん、待っててね」

さて、これを書きながら「あー、今年の第8回酔鴻忌には何人位いらっしゃるのかしら？」などと考えている。今年は日曜日開催なので、私は「山の上」での一次会しか参加できないのが残念だ。昨年の酔鴻忌の別れ際に「また来年ね」と再会を誓ったものの、一期一会となる方もあろう。だが、北森さんという存在がある限り、私たちの絆は固い。

大悲閣で、はたまた四条河原町あたりでお会いするのを楽しみにしています。

ねぎママ